



令和5年度 さいたま市 緑区のまちづくり



見沼氷川公園（緑区見沼地内）



緑区の木 ハナミズキ



大崎公園 子供動物園
（緑区大崎）

～緑区の将来像～ ホタル舞い・風かおる緑の街

区の将来像に込められた想い

ホタル舞い…見沼田圃^{たんぼ}に代表される自然環境の豊かさ

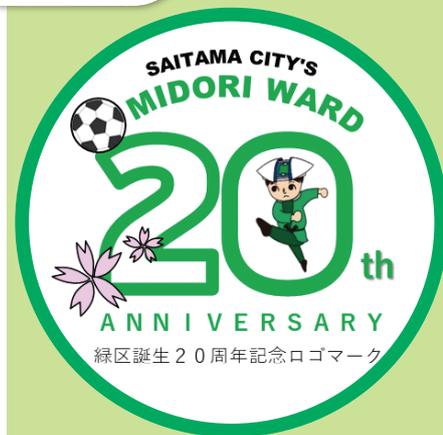
風かおる …人々のさわやかさや躍動感

緑の街 …緑の多いゆとりのある良好な住宅地・発達した街

～緑区民の皆様へ～

区民の皆様には、日ごろから緑区のまちづくりにご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。緑区は豊かな自然環境に恵まれ、地域の歴史を伝える多くの文化財が示すように古くから人の暮らしが営まれた地域です。その一方で、浦和美園駅周辺では「スポーツ、健康、環境・エネルギー」のブランド化を図るまちづくりを推進するなど、戦略的展開も期待されています。令和5年度は区制施行20周年を迎えます。緑区では5つのまちづくりのポイントを掲げ、職員一丸となって地域の皆様と協働して取り組んでまいります。

令和5年4月 緑区長 須田 哲矢



緑区誕生20周年記念ロゴマーク

『区のまちづくり』とは…

『区のまちづくり』は、「区の将来像」の実現に向けて、当該年度に実施する区及び局の主な取組について、区民の皆様に説明するものです。次年度には、アンケート等により区民の皆様の意見を伺い、事業の見直し、改善などに繋げていきます。

感染症対策の影響により、中止や内容を変更する場合があります。

また、イベントや講座等の実施にあたっては、ソーシャルディスタンスの確保や手指消毒の実施等、感染症対策を講じます。

区制施行20周年記念事業を実施します

令和5年度にさいたま市は区制施行20周年を迎えます。この節目となる年を契機に、地域のつながりや魅力を再認識し、更なる緑区への愛着・誇りを醸成するため、区民協働事業等を一層推進するとともに、地域資源を活用した事業の実施を通して、緑区の魅力を発信していきます。

※20周年記念事業として実施する事業については **20** と記載しています。

1. 郷土愛を育てるまちづくり

① 緑区区民まつり (緑区コミュニティ課) **20**

ふれあいのある地域社会の形成を図るため、区民と区との協働により緑区区民まつりを開催します。

【アンケートで満足度が90%以上】



② 緑区かかしランド (緑区コミュニティ課) **20**

かかしを題材とした作品の制作等を通して、住んでいる街の自然・歴史・文化を認識し、郷土愛をはぐくむことを目的に、緑区かかしランドを開催します。

【アンケートで満足度が90%以上】



③ 緑太郎ロード活用事業 (緑区コミュニティ課) **20**

「緑太郎ロード」を活用し、郷土愛をはぐくむとともに健康づくりを図るための事業を推進します。

- ① 緑区ウォーキングマップを作製します。【①配布部数2,000部】
- ② ウォーキングイベントを実施します。【②アンケートで満足度が90%以上】



④ ^{たんぼ}見沼田圃の保全と新たな活用・創造の推進 (都市局) MAP

さぎ山記念公園を拠点とする「見沼・さぎ山交流ひろば」において、みぬま秋フェス in さぎ山を開催します。

【見沼田圃エリアにおける主なイベントへの来訪者数14,000人・見沼田圃の市民認知度72%】

⑤ 文化財保護事業 (教育委員会事務局) MAP

国指定史跡の整備や文化財の保全の推進とその成果を教育やまちのにぎわいなどに活用し、郷土への関心や愛着をはぐくみます。

【国指定史跡「見沼通船堀」東縁園路整備工事の実施・国指定史跡「見沼通船堀」^{こうもん}閘門開閉実演の実施】

2. 「健幸」に暮らせるまちづくり

① 介護準備講座 (緑区高齢介護課) **20**

高齢化が進む現在、自身や家族の介護に関する不安や疑問は、多くの方にとって身近な問題となっています。

家族等の介護が必要になった場合、どのように対処していくのかを学習できる介護準備講座を開催します。

【アンケートで「参考になった」が90%以上】

② 地域で活躍するための介護予防教室（緑区高齢介護課）

高齢者がいつまでも元気に暮らしていくことができるよう、介護予防教室（いきいきサポーター養成講座）を開催してボランティアを養成し、高齢者の介護予防が地域において継続的に行われるように支援します。【アンケートで満足度が90%以上】



③ 生活習慣病予防普及啓発（緑区保健センター） 20

若い世代から生活習慣を整え、将来的な糖尿病、高血圧などの生活習慣病予防に向けて健康づくり教室を行います。

小学校3年生から6年生とその保護者を対象としたサバイバルクッキングを実施します。（オンライン開催）

【アンケートで「生活習慣の見直しや健康づくりの実践を継続している」が80%以上】



④ 福祉まると相談窓口（福祉局）

生活困窮をはじめ、福祉の複合的な課題を抱えている方等の相談を包括的に受け止め、生活困窮者自立支援制度に基づく支援や必要な支援のコーディネートを行います。

【アンケートによる相談者の満足度が70%以上】

⑤ 特定教育・保育施設等整備事業（子ども未来局） MAP

認可保育所を整備します。

【認可保育所の令和5年度開設 緑区：2施設】

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

① 交通安全啓発活動（緑区くらし応援室）

浦和東警察署及び交通安全諸団体と連携して、交通安全啓発活動を実施します。

【年20回】



② 道路安全パトロール（緑区くらし応援室）

道路損傷などの危険箇所を早期に発見し迅速に修繕するため、職員によるパトロールを実施します。

【週2回】



③ 青色防犯パトロール（緑区総務課）

犯罪の未然防止と特殊詐欺等への注意喚起を図るため、公用車によるパトロールを実施します。

【週3回】



④ 防犯・防災啓発（緑区総務課） 20

地域の防犯・防災力の向上を図るため、体験型親子防犯教室、地域の防犯リーダーの育成、防犯と防災に関する地域安全講演会を開催します。

【アンケートで「参考になった」が90%以上】



⑤ 緑区防災展（緑区総務課） 20

防災において重要となる「自助・共助」を地域住民の方に再認識していただくとともに、防災意識の定着と向上を目的として防災展を開催します。

【アンケートで「参考になった」が90%以上】



⑥ 避難所運営訓練 (緑区総務課)

大規模災害に迅速に対応し、円滑に避難所を運営できる体制を構築するために避難所運営訓練を実施します。

【区内全21か所】



⑦ 歩道等整備事業・ゾーン30プラス整備事業 (建設局) MAP

- ①安全で快適な通行空間を確保するため、歩道整備を推進します。
- ②地域の方々や交通管理者と協議・連携を行い、区域(ゾーン)を定めて自動車の最高速度を時速30キロメートルに規制するとともに、物理的デバイス(狭さく等)を設置するなど、生活道路内の安全対策を実施します。

【①歩道整備：緑区1か所 ②ゾーン30プラスの整備(緑区美園5・6丁目地区)】

4. 自然と共生し、生活環境の整ったまちづくり

① 不法投棄防止対策事業 (緑区くらし応援室)

自治会をはじめ、浦和東警察署や区内の関係諸団体が「不法投棄防止対策協議会」を構成し、不法投棄を防止するための対策協議やキャンペーン活動を実施するとともに、職員によるパトロールを行います。

【キャンペーン活動等：年3回 パトロール：週1回】



② 緑区見沼田んぼキレイきれい大作戦事業 (緑区コミュニティ課)

緑区内にある貴重な財産であり、広大な緑地空間である「見沼田んぼ」を保全するため、区民の力によるクリーン活動を実施します。

【参加者400人】



③ 学校トイレ洋式化推進事業・学校体育館空調機新規整備 (教育委員会事務局) MAP

- ① 給排水管を含めた全面的なトイレ改修工事を行い、トイレの洋式化を推進します。
【令和5年度実施：三室小学校、大門小学校、中尾小学校、東浦和中学校】
- ② 中学校体育館へ空調機を新規整備します。
【令和5年度実施：尾間木中学校、原山中学校】

④ 土地区画整理事業 (都市局) MAP

地域特性を踏まえた都市基盤の整備を行い、健全で良好な市街地の形成と災害に強いまちづくりを目指し、公共施設の拡充と宅地の利用増進を図ります。

主な土地区画整理事業 (市施行)

- ・ 浦和東部第一特定土地区画整理事業 【事業進捗率：82.1% 道路整備率：59.2%】
- ・ 東浦和第二土地区画整理事業 【事業進捗率：62.6% 道路整備率：33.0%】

5. にぎわいのあるまちづくり

① 緑区マルシェ（緑区コミュニティ課） 20

区の地域資源の活用及び地産地消の取組による地域の活性化を目的に、地元農産物等の販売を行う緑区マルシェを開催します。

【アンケートで満足度が90%以上】



② 緑区オープンガーデン（緑区コミュニティ課） 20

美しく快適で活気のあるまちづくりを目的に、個人宅や事業所の庭を公開し、ガーデニングを通じた区民同士の交流を促進します。

【公開庭数15か所】



③ 東浦和駅前クリスマスイルミネーション（緑区コミュニティ課） 20

東浦和駅前をクリスマスイルミネーションでライトアップし、華やかさにぎわいを創出します。

【点灯期間40日間】



④ 区の魅力を伝える情報発信（緑区コミュニティ課） 20

区制施行20周年を記念してポケットティッシュや看板、また、緑区魅力発信協力店の紹介冊子を作成し、区内各種イベント等で配布及び設置します。

【協力店登録店数25か所】



⑤ #わたしの好きな緑区 2023（緑区コミュニティ課） 20

SNS等で区内の写真を募集し、写真展を開催するほか、モザイクアートを作成し、区内公共施設等に展示します。また、カレンダーを作成し、区民に配布します。【写真展来場者アンケートで満足度が90%以上】



⑥ 美園地区のまちづくりの推進（都市戦略本部・都市局）

① AIオンデマンドバスなどの、AI、IoT等の先進技術活用による生活支援サービスの実証・提供を行い、「スマートシティさいたまモデル」の推進を図ります。

【「生活支援サービス」を1事業社会実装】

② 大門上池調節池広場の活用により、地域利用や民間のイベント利用を促進し、地域のにぎわいや交流を創出します。また、街並みルール（任意）を活用し、魅力ある街並みへ誘導します。

【みそのウイングシティ内の定住人口：16,500人・浦和美園駅の乗降客数(定期利用者除く)：10,100人】

Twitterで情報発信しています！

緑区役所公式 Twitterでは、区のイベントや事業、地域情報などを発信しています。

フォローしてね!



緑区マスコットキャラクター
緑太郎

令和5年度に緑区内で予定されている市の主な事業



編集・発行

〒336-8587
さいたま市緑区中尾975-1
さいたま市緑区役所区民生活部総務課
電話 048-712-1123
FAX 048-712-1270
<https://www.city.saitama.jp/midori/index.html>



もっと身近に、
もっとしあわせに

さいたま市は、市民満足度90%以上を目指す「さいたま市CS90+運動」に取り組んでいます。 *CS…Citizen Satisfaction=市民満足度

この「令和5年度さいたま市緑区のまちづくり」は3,400部作成し、1部あたりの印刷経費は41円です。